

西川産業(株)内 日本睡眠科学研究所	古川 雅嗣 様	
(一社) 日本ゴム工業会事務局長	青木 正己 様	
ウレタンフォーム工業会専務理事	大川 栄二 様	
(株)ブリヂストン加工品新事業開発室課長代理	中西 貴浩 様	
(株)ロマンス小杉マーケティング部 MD	竹内 伸一 様	
(一財) ボーケン品質評価機構開発部課長	坂井 史治 様	
(一財) ボーケン品質評価機構東京営業所主任	丸山 智生 様	
(一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良	中村 富夫
オブザーバー		
西川産業(株)品質管理室	池田 努 様 (欠席)	
(一財) ボーケン品質評価機構東京事業所係長	大口 達郎 様 (欠席)	

JBA 第 5 期業種別委員会：第 2 回ウレタン・敷部会 議事録

記

1. 開催日時 平成 30 年 5 月 23 日 (水) 午後 1 時 30 分 ～ 午後 4 時 30 分
2. 開催場所 (一社) 日本寝具寝装品協会
東京都中央区小舟町 7 - 2 小舟町 243 ビル 7F ☎03 - 6661 - 0213
3. 議題(1) ニッタ、住友理工 2 社との 5 月 18 日打合せ報告
 - (2) ニッタ式体圧分布測定器感度調整操作マニュアルについて
 - (3) 標準伸長&体重、及び体圧分布図の使用説明について
 - (4) JBA 表記ラベルの表記修正 大川案 について
 - (5) JBA 表記ラベルの認証 (海外製品/会員企業他) 扱いについて
 - (6) その他

* 古川部会長ねぎらいの会 PM5:00~7:00 割烹 一ゆう 堀留交差点近 B1 参加費 3000 円

議題(1)

古川部会長：(資料あり) 住友理工(株)4 名、ニッタ(株)2 名出席され、当協会の取組説明し理解賛同を得られた、との報告があった。

青木委員：住友理工製の耐久性回数を目安があるのか。ニッタ式でも都度のキャリブレーション誤差の確認法はあるのか。 データ誤差%基準値があるのか。

丸山委員：住友理工製は測定器送付すると無償定期点検があることも確認する。
ニッタ式は沈み込みの多いふとん測定はあまり想定していないみたいである。
ニッタ式のチェック方法として、初期データが保存可能なので見比べてみる事ができる。新品状態での各所データ誤差は 1%以内に収まるようになっている。

坂井委員：住友理工製は通電状態で 500 時間、又は 4 年間でシート交換目安である。

丸山委員：ニッタ式はどのような耐久目安基準があるのか、聞いてみることにする。

大川委員：会員からエクスセンサー測定器も検討してほしいと言われたが、今回は 2 社のみでスタートすることにした、と返答している。

議題(2)

丸山委員：只今製作中で、次回用意致します。

議題(3)

古川部会長：(資料あり)購買者メインと考えられる 50～60 歳代の平成 28 年度国民健康・栄養調査による男女の標準身長、体重である。

坂井課長：標準体型の女性を見つけるのが想像以上に壁がある。

古川部会長：被験者の標準身長と体重は、再度調査報告する。

標準体型は性別等を付記し表記すればよい。測定範囲は肩部から足部までか。

丸山委員：ニッタ式では、足部まで測定は高額な連結タイプでないと無理である。

中村 JBA:測定範囲は肩部から臀部までを JBA 性能表記ラベルに表記することとする。

議題(4)

大川委員：(資料あり)家表法の縫着ラベルは別にあるが、JBA 性能表記ラベルには家表法との混在表記(案)として考えた。

反発弾性と硬さは別物である。反発弾性も項目記載し、複層タイプは上層、中層、下層で表記する。

JISK6400 試験法はウレタンフォーム 50mm 厚での計測法であるが、製品は厚さ、波型、複層等各種あるので規定外であるがデータ取りする。

中西委員：通常厚さのマットレスは硬度測定は可能である。

丸山委員：30 c m までは押し込みで厚さ OK なので、復元率含めて測定可能である。

青木委員：製品ベースで試験すべき項目はどれなのか。

大川委員：硬さ、復元率、へたりにくさ、保温性 4 項目、反発弾性のみ材料データである。

5 段階☆マークは 5 個☆記載し塗りつぶし表記とする。

JBA 性能表記ラベル(案)を再度修正して、来週には再提出メールする。

尚、本表は製品又は梱包物の目立つところへの付帯とする。

丸山委員：測定装置の各社名称は正式名を記入できるように報告する。

青木委員：ウレタン中芯入り異素材との組み合わせ数はどうするのか。

奥谷専務：ウレタンフォーム 50mm 以上の場合はウレタン敷とする。

丸山委員：ウレタントッパー30mm に通常の家表法 50mm 厚の試験データを引用してよいのか。

議題(5)

奥谷専務：JBA 会員になっても海外製品は、基準を満たしているかの規格含めてクリアにすべき事が多くあるので、JBA 性能ラベル使用は要検討である。

JBA 性能表記ラベルはボーケン審査を経て、印刷発行する。

大川委員：OEM 商品は表示者名業者の会員化がふさわしいが、小売り、通販事業者等全ては要検討である。

議題(6)

古川部会長：次回開催は 6 月 28 日午後 1 時 30 分～ とする。

以上